

**今月の一言** 太陽エネルギーの活用は、エネルギーセキュリティの向上、地球温暖化の抑止、ヒートアイランド現象の抑止にもっとも有効な手段と考えます。全地球表面積あたり、165W/m<sup>2</sup>(地表レベル)降り注ぐ太陽エネルギーの有効利用を徹底すれば、エネルギーの鎖木から日本が解放される日もやってくるのではと考えます。(松縄 堅)

## Topics

- 6月18日に開催する第6回NSRI都市・環境フォーラムは、残間里江子氏(プロデューサー)によるご講演「時代を読む 団塊世代を中心とするシニアが拓く新しい社会」です。詳細は<http://www.1k.mesh.ne.jp/toshikei/>まで。

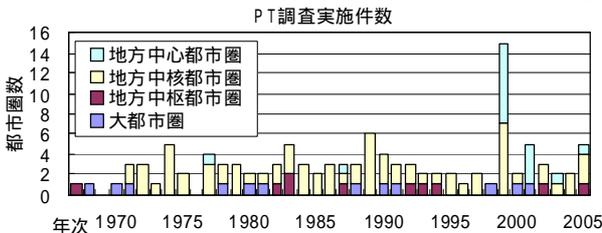
## 「パーソン」トリップ調査から 「パーソナル」トリップ調査へ

パーソントリップ調査という名前は、都市計画やまちづくりに関わる人ならば、多少なりとも聞いたことがあるのではないのでしょうか。交通計画の分野では通称PT調査(以後このように表記)あるいは略して単にパーソンと呼ばれている、最もポピュラーな調査です。

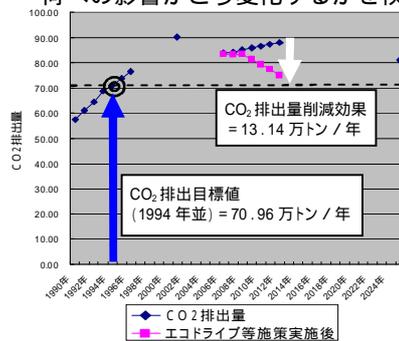
PT調査はその名前からも想像が出来るように、交通の根源は「人の移動」(もうひとつの根源に「物の流動」があるが今回は触れない)にあるとの認識のもと、都市圏と呼ばれる一定の対象地域内において「人の移動」、すなわち「パーソン」の「トリップ」を調べる調査です。この調査によって交通の出発地と出発時刻、到着地と到着時刻、目的、利用手段、駐車場所など、交通に関わる様々な情報と特性を明らかにすることが出来ます。また、併せて当該交通を行った個人の属性なども把握します。

このように、PT調査は交通に関する実態調査としては最も基本的かつ重要な調査のひとつですが、よくPT調査を総合都市交通体系調査と同義で使う場合があります。後者はPT調査を始めとし、各種の実態調査をもとに都市交通体系のマスタープランを策定したり、固有の交通課題に対応した個別計画を策定したりする、一連の調査検討体系を指しています。PT調査がこのような広義の意味合いで使われるのも、その基本性および総合性ゆえともいえます。

わが国では研究的な経験を踏まえ、1967年(昭和42年)に広島都市圏で始めて大規模な本格的PT調査が実施されて以来、約40年間に全国110余りの都市圏(複数回実施含む)で実施され、日建設計グループはその約1割を担当しました。なお、1999年は節目のため実施都市圏が多いようです。



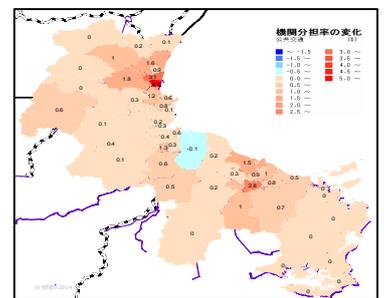
PT調査の最も基本的なアウトプットは、地域全体の交通手段別の予測交通量であり、いわば量的な側面から計画に根拠を与え、交通手段の相互関係の検証を可能としたことです。このため、交通上の施策が手段利用の変化や、それを通して環境負荷への影響がどう変化するかを検討することができます。左図



は豊田市で交通施策適用時のCO<sub>2</sub>削減予測例で、エコドライブ等の施策実施により約13万トンのCO<sub>2</sub>削減効果が予測されました。

また、PT調査では人口配置、すなわち土地利用や都市開発との対応のもとで交通現象を扱うことができ

ます。下図は中南海都市圏で人口配置を集約型にした場合の公共交通機関の利用変化率の例です。人口減少と市街地縮退という昨今の都市計画を取り巻く課題に対しても、交通上の示唆を得ることが可能です。



PT調査では、データの集計、分析、予測などでは一定の属性でまとめて行います。

しかし、個人レベルで交通特性などを把握しているため、これをより有効に活用することが考えられ、実際、個人単位での目的地選択、経路選択、交通手段選択の結果と、当該個人に与えられた条件等を関係付けたモデルも開発されています。

この発想をさらに進めて、個人の価値観やライフスタイルなど、個々人の交通行動を規定する個別要素も折込んで検討できると、環境に配慮した交通行動をとってもらうための政策や誘導策を、よりきめ細かくかつ実効性あるものにも出来るのではと期待されます。こうなると、個人的には「パーソン」トリップ調査というよりは、「パーソナル」トリップ調査という方がしっくりしているように思うのですが、如何でしょうか。(上野和彦)

### 定期配信をご希望の方

定期配信を御希望の方は、下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

(chihiro.kimura@nikken.co.jp 担当: 木村千博)

### 編集後記

二十数年ぶりに多摩NTを見学する機会があり、新旧街区を見て回りました。社会状況の大きな変化に課題はあるかと思いますが、街としての醸成が感じられ気持ちの良いひと時でした。近隣センターで買求めた“どんぐりパン”はやさしい味がしました。(K)